

# 『放射線被ばくと危険度』

東日本大震災に伴う福島第一原発事故によって放出された放射性物質による影響は食品・健康面で大きな不安をもたらしています。これまで多くの情報が各種メディアから、世間に溢れましたが、今夏過ぎには、“食品等に含まれる放射能の国が定めた暫定規制値”なども出揃い、今後の対応を冷静に考えられる状況を迎えました。市民各位の放射線への関心の高まりにお応えする意味で、食生活、健康面に焦点を絞り、放射線に係る基本用語・注意事項を簡潔に纏めて、本テーマのご理解に役立てて頂きたいと思えます。

今回の公開講座では、好ましからざる想定外事態に遭遇しても極力冷静に対処できますよう、基礎的放射線知識と放射線の危険性について概要を把握頂くことを目的として開催いたします。

開催日時：平成23年12月10日(土) 13:30~15:50

場所：鈴鹿医療科学大学 JART 記念館 100年記念ホール  
〒510-0293 鈴鹿市岸岡町 1001-1 (近鉄千代崎駅より徒歩13分)  
(駐車場有り)

参加費：無料

定員：200名

## 演 題

《座長》 保健衛生学部 放射線技術科学科 学科長 幾瀬 純一 教授

◆ 13:30~13:35

＜開講あいさつ＞ (座長)

◆ 13:35~14:10

「放射線とは？ 放射線に関する基礎知識」 中西 左登志 准教授

◆ 14:10~15:30

「放射線被ばくと危険度を考える」 具 然和 教授  
・食品を通じての影響  
・放射線によるがんと遺伝的影響

◆ 15:30~15:50

「質問コーナー：(Q&A)」 (座長&演者)

本講座は、放射線被ばくと危険度に関する基礎知識を提供するものであり、原発事故による汚染状況や行政の指針などを議論する趣旨の公開講座ではありません。  
ご理解の上、ご参加くださいますようお願い致します。

主催：鈴鹿医療科学大学

申し込み/問い合わせ：鈴鹿医療科学大学（千代崎キャンパス）庶務課 Tel 059-383-8991